

令和5年度 第2回 県政モニター調査結果

男女共同参画室 男女共同参画係
(TEL 099-286-2634)

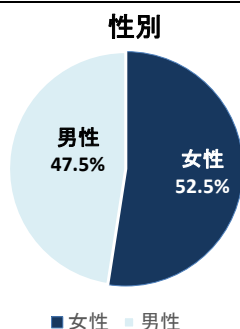
テーマ	男女共同参画・ジェンダー平等の意識を醸成するための広報・啓発について
目的	「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」の閲覧状況やジェンダー平等推進のための啓発動画の視聴状況及びそれらに対する意見・感想、「かごしまジェンダー平等推進宣言」の認知度などを把握し、今後の効果的な広報・啓発活動の参考とするため。
調査時期	令和5年7月
調査対象者	200人
回答者数	122人 (61.0%)

※ジェンダー…「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的な性別（セックス/sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」, 「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー/gender）という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。

問1 回答者の情報

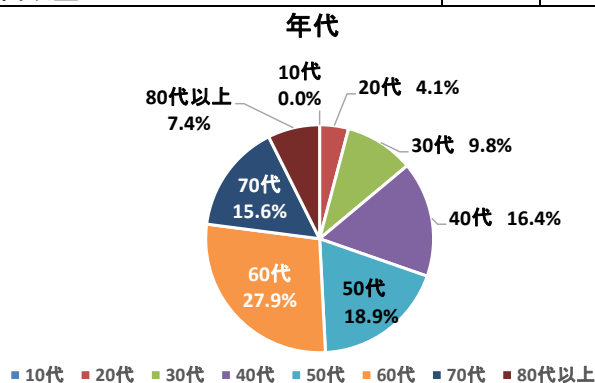
問1-①

性別	(人)	割合
女性	64	52.5%
男性	58	47.5%
()	0	0.0%



問1-②

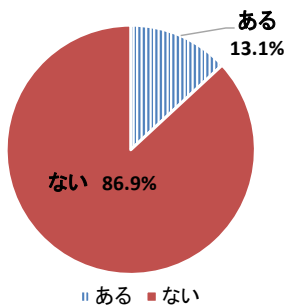
年代	(人)	割合
10代	0	0.0%
20代	5	4.1%
30代	12	9.8%
40代	20	16.4%
50代	23	18.9%
60代	34	27.9%
70代	19	15.6%
80代以上	9	7.4%



問2 「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」について伺います。
 問2-① あなたは、「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」を御覧になったことがありますか。

	(人)	割合
ある	16	13.1%
ない	106	86.9%

「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」の閲覧

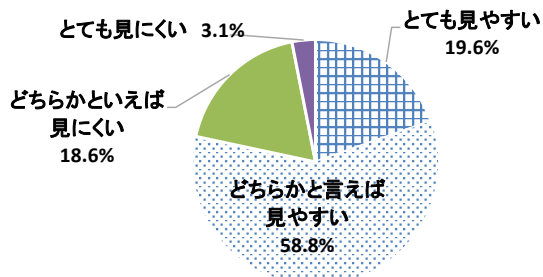


問2-② 「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」の見やすさについて、どのように思われますか。

※回答者数：97人

	(人)	割合
とても見やすい	19	19.6%
どちらかといえば見やすい	57	58.8%
どちらかといえば見にくい	18	18.6%
とても見にくい	3	3.1%

「かごしまジェンダー平等推進ポータルサイト」の見やすさ



→ とても見やすい ※ どちらかといえば見やすい ■ どちらかといえば見にくい ■ とても見にくい

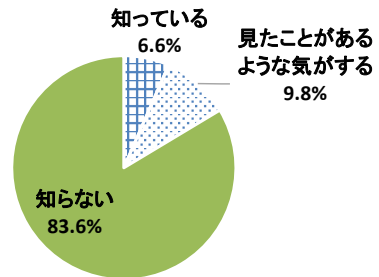
問3 あなたは、かごしま若者会議で生まれた意見をもとに、県が作成したジェンダー平等推進のシンボルデザインを御存知ですか。（1つ選択）

	(人)	割合
知っている	8	6.6%
見たことがあるような気がする	12	9.8%
知らない	102	83.6%

(ジェンダー平等推進 シンボルデザイン)



シンボルデザインの認知度

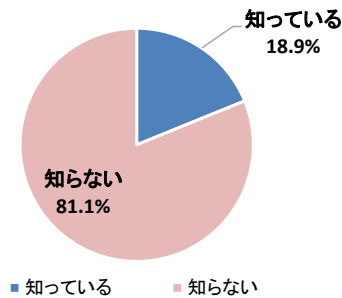


■ 知っている ■ 見たことがあるような気がする ■ 知らない

問4 あなたは、「かごしまジェンダー平等推進宣言」を御存知ですか。

	(人)	割合
知っている	23	18.9%
知らない	99	81.1%

「かごしまジェンダー平等推進宣言」の認知度



■ 知っている ■ 知らない

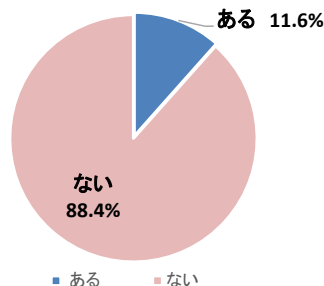
問5 動画「一人、ひとり、輝く未来へ～ジェンダー平等を実現しよう～」について伺います。

問5-① あなたは、動画「一人、ひとり、輝く未来へ～ジェンダー平等を実現しよう～」を御覧になったことがありますか。

※回答者数：121人

	(人)	割合
ある	14	11.6%
ない	107	88.4%

動画「一人、ひとり、輝く未来へ～ジェンダー平等を実現しよう～」の視聴



■ ある ■ ない

問5 -② 本動画についての御感想をお聞かせください。(抜粋)

- ・初めて動画を視聴しました。今までは「男らしく・女らしく」と言われて私達は育ってきましたが、今は「自分らしく・私らしく」と、「～らしく」の意味が変わってきましたね。皆が毎日笑顔で生きられる世の中が理想ですが、まだまだ遠いような気がします。
- ・一人、ひとり、輝く未来へ、とても響きます。あらゆる世代で感じていること、考えていること、問題にしていることだと感じている今日この頃。とても大切に難しいことだと思いますが、一人ひとり、みんなで自分のことだと考えて実践していこうと思える社会であってほしいと願いながら拝見しました。多くの人が目にするところでも流されると良いと思います。
- ・動画の時間が 30 秒のものなど、気軽にみることができ良いと思った。今までこのような動画があることを知らなかった。もっと県民に PR して欲しいと思う。知らない人が多いのではないか。
- ・ジェンダー平等について、様々な視点や立場から考えた動画であると感じました。特に鹿児島は、ジェンダー平等の視点が欠けていると感じることが多いので身近な場所でも動画を流して欲しいと思いました。
- ・ジェンダー平等へ向けてわかりやすい内容だった。確かにそうだよな、これからはそういう時代になるよう周囲の人も考えを変えていかないとイケない時代だなと思った。
- ・とてもカラフルで見やすい。無理をしなくても自分から見たいと思える動画でした。
- ・盛り沢山の情報。色々な角度から考えないとイケないので、まずは、自分の身近なところになにかがあるのかを見つけて考えたり取り組むことになると思います
- ・一人ひとり色々な目線から気付けるジェンダーの不平等さがあることが、短い動画の中でよく伝わりました。
- ・手話動画があるとよいのでは？
- ・幅広いイメージが駆け抜けた。とても躍動感溢れるテンポとリズム。清々しい気分になれた。
- ・年齢性別に関係なく、人として平等だと再認識した。
- ・作られてる感じがします。もっと生の声を聞きたい。
- ・人と違うことを受け入れ自分も大事にしようという意図がわかりやすく、意識改革につながる動画だと思います。
- ・自分らしく生きるという言葉聞いて、自分はどう生きたいかなあとあらためて考えさせられました。人生 100 年時代、みんながそういう意識を自然にもてればより楽しくイキイキと過ごせると思いました。

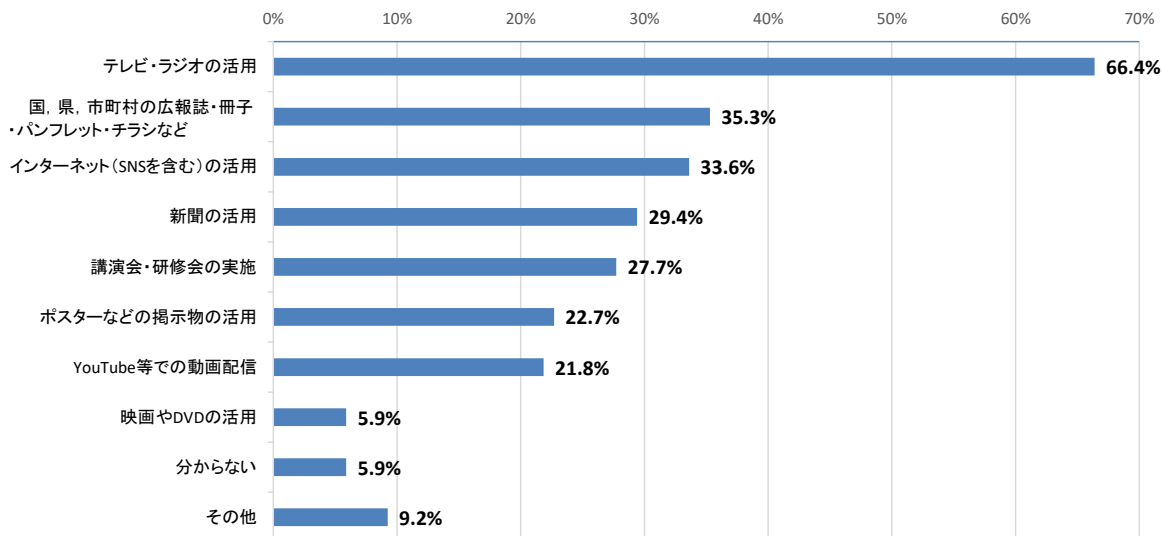
- ・すべての人が個性と能力を十分に発揮できる様になるといいなあと思う。
- ・社会・地域（高齢者）篇から、素晴らしい動画と思います。
- ・老若男女色々な立場からのコメントの動画で良いと思う。
- ・動画を視聴し、改めて尊重、感動しました。要所を短く解り易くまとめてあり、素晴らしい動画であると思います。誰もが繰り返し聴き、意識を変えるスタートを切れたら、この動画は素晴らしいものになると思いました。
- ・それぞれのテーマについて短い動画で端的に課題解決の提案がされている。あるべき姿が誰にも分かりやすく表現されていてとても素晴らしいと思いました。
- ・各視点でのショート動画は認知を向上することに効果的と感じました。
- ・子供の頃からジェンダー平等の教育をすることが望ましいと感じました。
- ・動画作成は、わかりやすくて良いと思います。
- ・年代の幅広さや社会的立場など多くの目線で発信できていることは非常に大事なことだと思う。これからの社会において、ジェンダー平等の考え方はスタンダードなことになるので、早い時期からしっかりと考え方を浸透させることが大切だと思う。
- ・一人の人間として、尊重される事が大切だと思いました。
- ・無意識のうちに相手が傷つくような言動をしているかもしれない、と改めて気づかせてもらいました。皆んなが平等に幸せに暮らせるようにしていきたい。
- ・動画内の方々の意見と合わせて、実際に社会で活躍されている女性や育休を取った事のある男性の方々の意見も聞けたら、ジェンダー平等の実現に向けての方向性が見えてくるのではと感じました。
- ・こうなればいいという希望ばかり散りばめられた綺麗事の動画だった。
- ・若者たちだけの問題ではない。横文字その他の用語に解説が欲しい。

問6 男女共同参画・ジェンダー平等の意識を醸成するために、どのような手段による広報・啓発活動が役立つと思いますか。（3つまで選択可）

※有効回答者数：119人

	(人)	割合
テレビ・ラジオの活用	79	66.4%
国、県、市町村の広報誌・冊子・パンフレット・チラシなど	42	35.3%
インターネット（SNSを含む）の活用	40	33.6%
新聞の活用	35	29.4%
講演会・研修会の実施	33	27.7%
ポスターなどの掲示物の活用	27	22.7%
YouTube等での動画配信	26	21.8%
映画やDVDの活用	7	5.9%
分からない	7	5.9%
その他	11	9.2%

役立つと思う広報・啓発活動の手段



問6 その他（自由記述）の回答（抜粋）

- ・ 学校教育の場
- ・ 当事者の考え，経験談を強調されたい。
- ・ 特に啓もう活動などしなくてもよい。
- ・ 意識のある人は情報を取り入れられる。意識の少ない人は気付きにくいので，職場ごとの研修が必要ではないか。
- ・ 会社や学校ではこの話題の研修や講演を聞く機会があると思うが，お年寄りの方は時代的にもそういう考えに若い頃特にふれていないのでそういう方々へのお伝えする機会があるといいと思います。
- ・ ジェンダー平等の考え方を受け入れられない人も実際多いと思う。そういう人たちからも話を聞いて，なぜ受け入れられないのか？ということを理解して対策を講じることが必要なのでは。
- ・ 政策として取りくむ。罰則や奨学金を設ける等
- ・ 現在ジェンダー問題改善に消極的である企業のうち事業規模(売上とか)が大きいところから，積極的に担当課から働きかけたらどうでしょうか。

問7 問2 から問5 の広報・啓発物を御覧になった感想や男女共同参画・ジェンダー平等の意識を醸成するための広報・啓発について，御提案・御意見，その他お気づきのことがあればお聞かせください。（抜粋）

- ・ 見ることはやすい。特に，テレビ新聞は，良い啓発だと思います。講演会等は，時間，熱心さ等が左右するので，少し難しいと思います。
- ・ ポータルサイトは，「見にくい」というより「わかりにくい」かなと感じました。相談したい人はどこを見て連絡をとられたか，いつか集計の結果を見たいです。目を引くのは参加企業名です。
- ・ ジェンダー平等のため一人一人が出来る事から始めたいですね。どんどん県民をまきこんでください。そして，もっと鹿児島県の取り組みをアピールして下さい。
- ・ 全ての世代で共通意識として認識するには，様々なジャンルを利用して，特別なことではないと思えるほど，目にして聞いて当たり前のことだと思えるようになることが大切ではないかと思います。
- ・ 職場の研修で，人権同和の研修を毎年受けている。男女共同参画やジェンダーの研修会もして欲しいと思った。鹿児島県民は保守的な考え方の方が多いように思うので，色々な場で啓発をして欲しい。
- ・ 大画面の街頭にあるビジョンなどで流したり，ポスターやチラシなど動画にとべる

ようにすれば、理解は更に深まると感じました。

- ・ 保育園，幼稚園，小・中学校，高校での教育が大事だと思うので積極的に授業等で取り入れてほしいです。
- ・ 各年代別の広報活動が必要。若年層と老年層とのギャップがある。
- ・ 男女共同参画について，学習グループに参加できた(30代後半～40代)のおかげで，ジェンダー意識にも関心があります。特に，社会(地域・職場・家庭)で，正しい考え方を大いに対話形式で，啓発増進をPRしたいものです。
- ・ 言葉は聞いたことがあってもなかなか細かく内容を知る機会や見る機会がなかった。言葉だけ聞くとなんだか難しく考えてしまいがちだし，見たいという気持ちにもなれなかったり，自分には関係のないことだと思ってしまう。もっといろんな所で耳にする機会や見る機会が増えれば，自然と馴染んで考える機会が増えると思う。当たり前のこととしてみんなが知る，考えていくべきことだと思う。活字よりポスターや映像，動画などの方が自然と目に止まりやすいと思う。
- ・ 講演会や研修会に参加する方は興味があるからだと思う。目や耳から，なにげにうるさいくらい配信する方が，世の中そういう流れになったんだと意識づけるのでは。
- ・ 子ども達は学校で学ぶことができても，家庭に帰れば矛盾することが出てくる。親世代が社会の変化に気付き変わるためにも，経営者など組織のトップの意識を変え従業員への研修実施や勤務環境改善が必要。
- ・ 我が家は70歳と64歳のパートナー同士，食事の支度は基本的に2人で行います。まずは家庭から実践するとよいと思います。
- ・ 古くから男尊女卑の風習のある当地においてはなかなか難しい意識改革ですが，SNS，インターネットに接する機会の多い若い世代には，動画配信などで抵抗なく意識改革が行えるような気がします。
- ・ 広報・啓発について，県職員の皆様がより率先して意識し，動くことで，お手本となり県全体で認知されるかと思います。
- ・ ジェンダー平等に向け，実際に取り組みを実施している企業や団体にフォーカスすることも認知度向上に影響があるのかと思いました。
- ・ もっともっとPR活動をすべきと思います。テレビやラジオ等を最大限活用すべきと思います。
- ・ インターネットの時代ですので，どしどし活用すべきではないでしょうか。YouTube, Facebook, LINE, Twitter も含みます。
- ・ サイトやYou Tubeは興味のある人しか検索しないし見ない。興味のない人にこそ届けないといけないのでその方法を考えた方がいいと思う。
- ・ 今回のモニター調査を通じて，各所でジェンダー平等などの取り組みや周知を行なっていると知った。もっとSNS等を活用して，みんなが理解し合える環境にな

ればいいな、と思う。

- ・我々の年代は、理解できない。薩摩隼人の人間は、昔ながらの、風習が一番よいです。
- ・日常、特にジェンダーについて意識するというようなことが無い。男だから、女だからというようなことも無く自然体ですごさせてもらってます。
- ・あまり意識しなくてもよいのではないかと思う。不平等にならないことが大事だと思う。
- ・昔と違って、国全体が男女共同参画やジェンダー平等の意識が高まっているとは思いますが。更に、広報を通じて、拡げて行って欲しいと思います。